

文化財情報の 総合データベースシステムの 構築と運用

小山田智寛* 福永八朗 二神葉子* 三島大暉* 田所泰*

*独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所



東京文化財研究所とは？

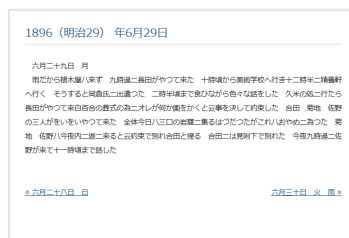
- 1930年、画家黒田清輝の遺言で設立
- 奈良文化財研究所や京都国立博物館とともに独立行政法人国立文化財機構に所属
- **文化財全般**とその**保護**に関する調査研究を行っている
- **有形**や**無形**、**動産**や**不動産**を問わない



黒田清輝 湖畔
(重要文化財)

“デジタル”アーカイブ紹介

- 1876～1937の書画家の番付(61枚、約1万8千名)
- 1884～1923の黒田清輝の日記(約5千日分)
- 1894～1925の雑誌『日本美術画報』(約6千作品)
- 1930～1955頃撮影のガラス乾板(約2万2千枚)
- 1936～現在刊行のデータブック『日本美術年鑑』(約74万件)



内部アーカイブシステム構築

課題

- 刊行物のために整理したデータの未活用
 - データ形式や入力、保存の属人化
- ⇒ データの活用と共有、入力の効率化のシステム

システムの活用事例

未活用データの活用 ⇒ 「総合検索」
データ共有と入力の効率化 ⇒ 『日本美術年鑑』